

ミニガイド報告

記 N

○バードウォッチング入門

1. 日時：2026. 3. 14 (土) 9:50~12:00 天気 晴れ
2. リーダー：U、N ききみみメンバー：8名
3. 参加者数：大人 14名 子供 6名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～芝生広場～水飲み広場～駐車場～貯水池沿い～多目的ルーム
6. 活動内容：バードウォッチングのマナー、双眼鏡の使い方や図鑑の使い方を勉強し、野外に出て実際に野鳥を観察してもらう。

時間・場所	内 容
9:50 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみメンバー） ・内容を伝える（マナー、双眼鏡・図鑑の使い方など） ・双眼鏡の使い方、図鑑の使い方、ものさしどりの説明 ・「ヤマドリ」の生態について資料を活用しながら説明する。 *体・嘴：尾：Lオス125cm メス55cm。オスはキジより長い尾。 *食べ物・木の実や草の芽など。 *鳴き声・「ククク」と低い声で鳴く。 *留鳥：本州四国九州の暗い山林の奥にひっそりと暮らしている。 *オスは繁殖期に「ドドドッ」と羽ばたきの音を立てる「ほろうち」をする。 *百人一首に出てくる鳥。「あしびきの やまどりの尾の…」という一首。オスとメスは谷を隔てて眠るといわれていたの、オスとメスが夜別々に過ごすことに例えて寂しい気持ちを詠んだもの。実際は一夫多妻といわれている。
ベランダ 芝生広場 水飲み広場 貯水池沿い 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加された親子たちもヤマガラを確認できた。 ・シジュウカラ、ヤマガラの違いを確認しながら、観察できた。 ・枝に留まっていたジョウビタキをじっくり観察できた。 ・カワウ、カイツブリ、キンクロハジロ、カルガモなどの水鳥を確認できた。 ・鳥合わせをする。 <p>【水辺の鳥】カンムリカイツブリ、カイツブリ、カルガモ、キンクロハジロ、カワウ 【山野の鳥】ヤマガラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、シメ、イカル、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、アオジ、ツグミ、カワラヒワ、トラツグミ、ミサゴ、トビ、ウグイス、エナガ 25種確認</p>
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート依頼 解散